



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 第1四半期 決算説明会資料

2024年8月6日

株式会社UACJ



発表のポイント

- 2024年度1Qの事業利益*1は168億円(前年同期比 +58億円)
- 2024年度通期業績予想を上方修正し、年間配当の計画を増額

1

■ 2024年度1Q 事業利益 168億円(前年同期比 +58億円)

- ✓ 国内: 2023年度下期からの価格改定効果と、各分野における順調な販売によって収益を確保
- ✓ 海外: TAA*2 缶材需要の好調を取り込み、増収増益
UATH*3 北米缶材需要の拡大に対応する出荷および輸出先エリアの需要復調で増収増益

2

■ 2024年度通期業績予想 事業利益 455億円(前期比 +21億円、前回予想比 +20億円)

- ✓ 北米における缶材の需要拡大に応じた出荷により、UATHで増収増益
- ✓ 業績の好調な推移を見通し、事業利益は前期比+21億円の増益
- ✓ 最終利益は前期比+66億円の205億円とし、年間配当を前期から50円/株増額の140円/株に変更

*1 事業利益 : 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの

*2 TAA : Tri-Arrows Aluminum Inc.

*3 UATH : UACJ (Thailand) Co., Ltd.,

- 1 | **2024年度 第1四半期業績**
- 2 | **2024年度 業績予想修正**
- 3 | **企業価値の向上に向けた取り組み**
- 4 | **ご参考**

1. 2024年度 第1四半期業績



Aluminum lightens the world

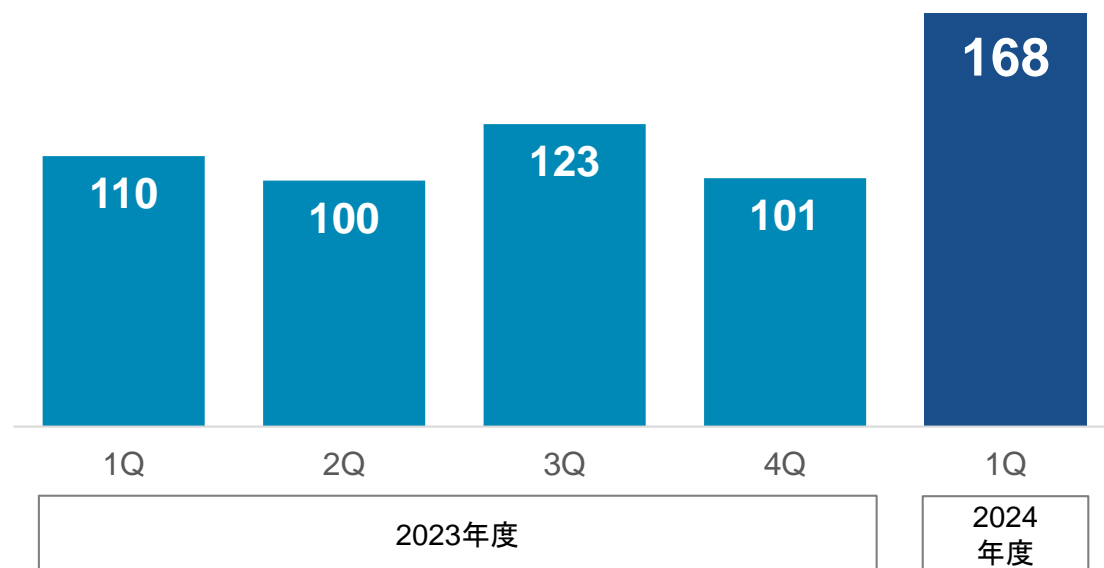
アルミでかなえる、軽やかな世界

業績 サマリー

【第1四半期の事業環境】

1. 海外 TAA : 缶材需要の復調により販売拡大
UATH: 北米および他地域への販売好調
2. 国内 品種構成の好転
缶材 : 缶材の需要期による販売増加
厚板 : 流通在庫の適正化による一時的な需要増加

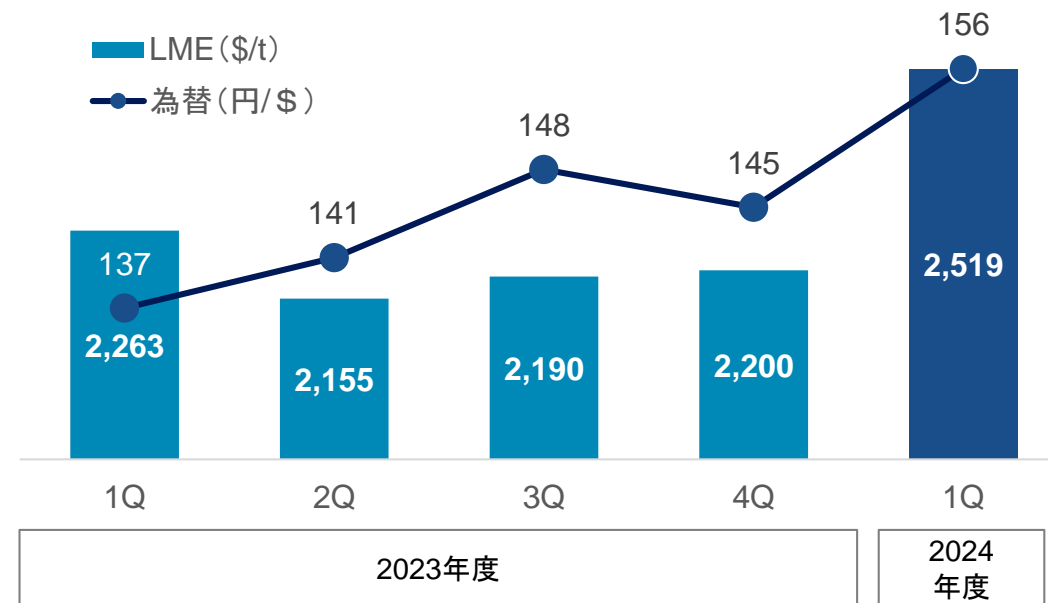
【事業利益(億円) 進捗】



【経済環境】

1. 為替損益 : 円安の影響
2. 製造コスト : 地金価格の影響

【地金価格/為替の変動】



第1四半期 業績

(単位:億円)	2023年度 1Q (A)	2024年度 1Q (B)	増減 (B) - (A)
売上収益	2,111	2,476	365
事業利益	110	168	58
棚卸資産影響等	△ 28	51	79
営業利益	82	219	137
親会社の所有者に帰属する当期利益	29	147	117
1株あたり当期利益 (円 / 株)	61	304	243
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	52	104	52
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円 / 株)	108	215	107
Adjusted EBITDA *1	200	262	62

*1 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等

アルミ板 品種別売上数量

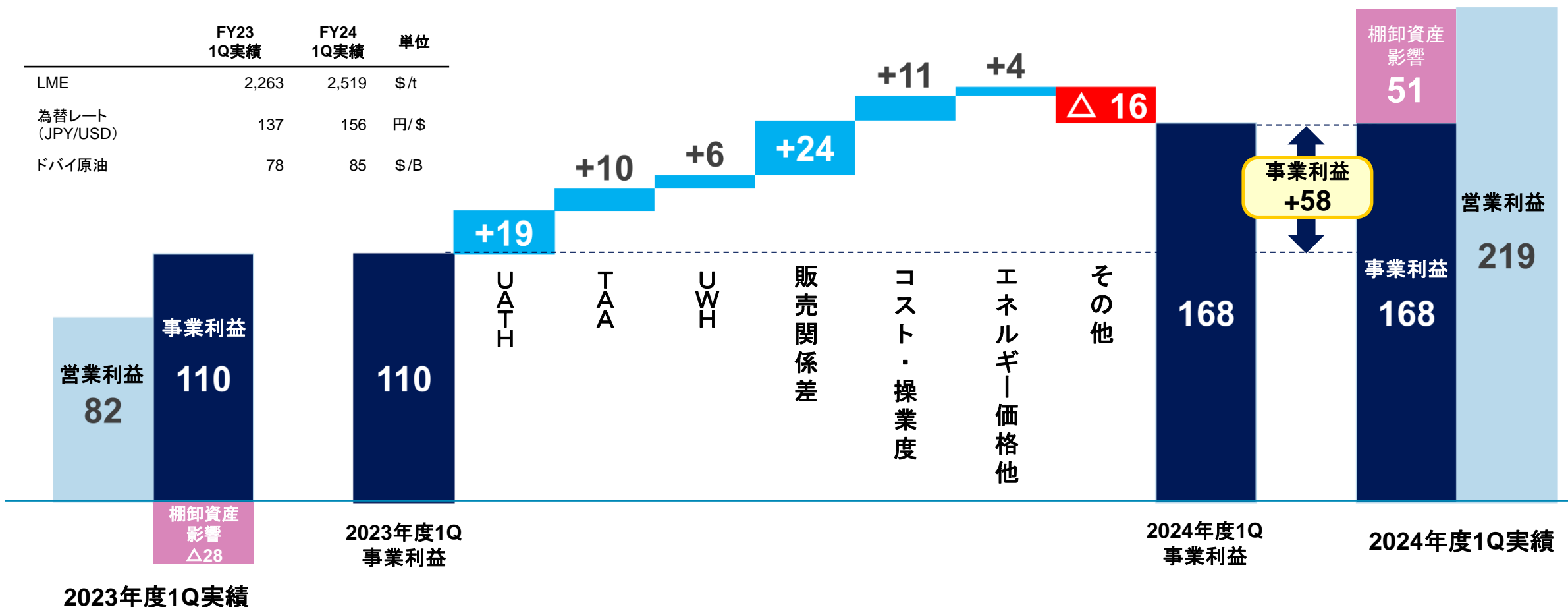
(単位:千トン)

品 種	2023年度 1Q (A)	2024年度 1Q (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材 ^{*1}	187	208	21
箔 地	11	11	0
I T 材	1	2	1
自動車材	33	35	2
厚 板	7	10	3
その他一般材	40	48	8
合 計	280	315	35
	国内市場向け 116 海外市場向け 164	国内市場向け 130 海外市場向け 185	国内市場向け 14 海外市場向け 21

事業利益分析 (2023年度1Q → 2024年度1Q)

事業利益: **110億円** (2023年度1Q) → **168億円** (2024年度1Q)

(棚卸資産影響額: Δ 28億円(2023年度1Q) → 51億円(2024年度)、前期比 +79億円) (単位: 億円)



連結貸借対照表

北米缶材需要の取り込みによる最終利益の獲得で、株主資本が充実

連結貸借対照表

(単位: 億円)	24/3末 (A)	24/6末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	402	330	△ 72
営業債権及びその他の債権	1,797	2,047	250
棚卸資産	1,879	2,117	238
その他の流動資産	234	271	37
有形固定資産	3,852	3,947	95
その他の非流動資産	980	998	18
資産合計	9,144	9,710	566
営業債務及びその他の債務	1,417	1,530	114
借入金	3,109	3,209	100
その他	1,598	1,661	63
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,770	3,030	259
非支配持分	250	281	31
負債及び資本合計	9,144	9,710	566

資金運用表

	用途	調達
長期資金	設備投資等	99
	法人税等支払	20
	長期資金余剰	183
短期資金	運転資金増減他	323
	短期資金不足	323

長期資金余剰	183億円
短期資金不足	△ 323億円
フリーキャッシュフロー	△ 140億円

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度のD/Eレシオ目標水準 1.0倍を維持

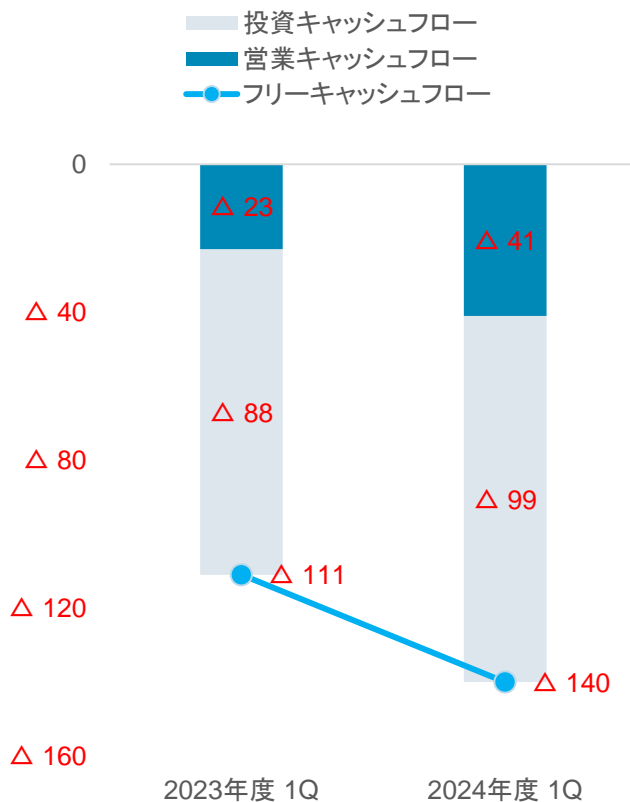
2024年度 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	208
減価償却費	94
債権債務増減他	△ 343
営業キャッシュフロー計	△ 41
設備投資 他	△ 99
フリーキャッシュフロー	△ 140
ファイナンススキーム・配当他	22
現預金増減(△は増加)	72
外貨建て借入金換算差(△は増加)	△ 55
有利子負債(△は増加)	△ 100

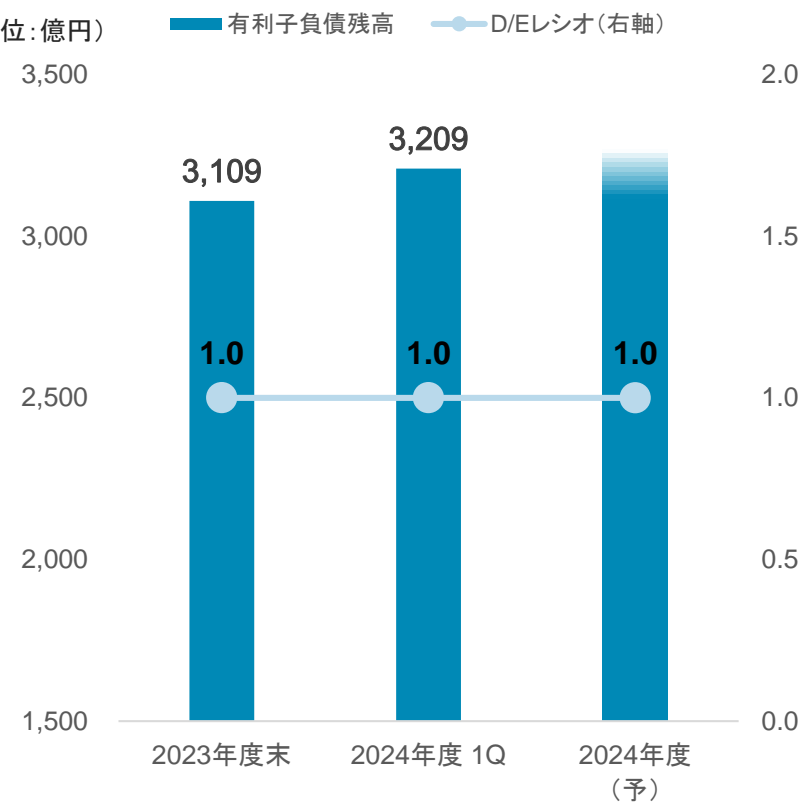
連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



有利子負債残高・D/Eレシオ*

(単位:億円)



設備投資・減価償却費

設備投資は減価償却の範囲内を堅持

(単位:億円)		2024年度1Q 実績	2024年度 見通し	2021~23年度 実績	2024~27年度 計画
		設備投資	一般投資	35	160
戦略投資	24		205	247	780
合計	59		365	803	1,600
減価償却費		94	365	1,018	1,600

タイ(UATH)の状況

北米缶材需要の回復に応じた出荷を再開、増収増益となる

総括

需要 : グローバルでの缶材の需要が回復

販売 : **【北米向け】**

缶材需要回復に応じ、製品の出荷を再開

【ASEAN・その他地域】

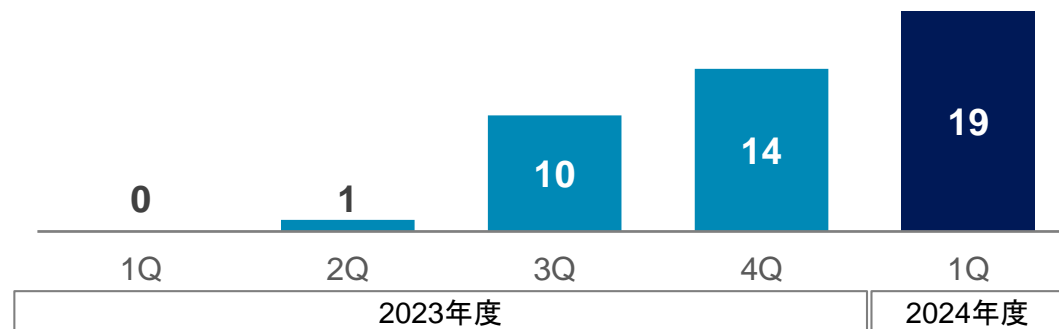
- ・ 新規顧客の開拓を進め、販売展開エリアを拡大
- ・ 中国材との競争に対し、安定供給と高い品質を強みに契約交渉を実施

損益 : 販売数量の回復で収益を確保

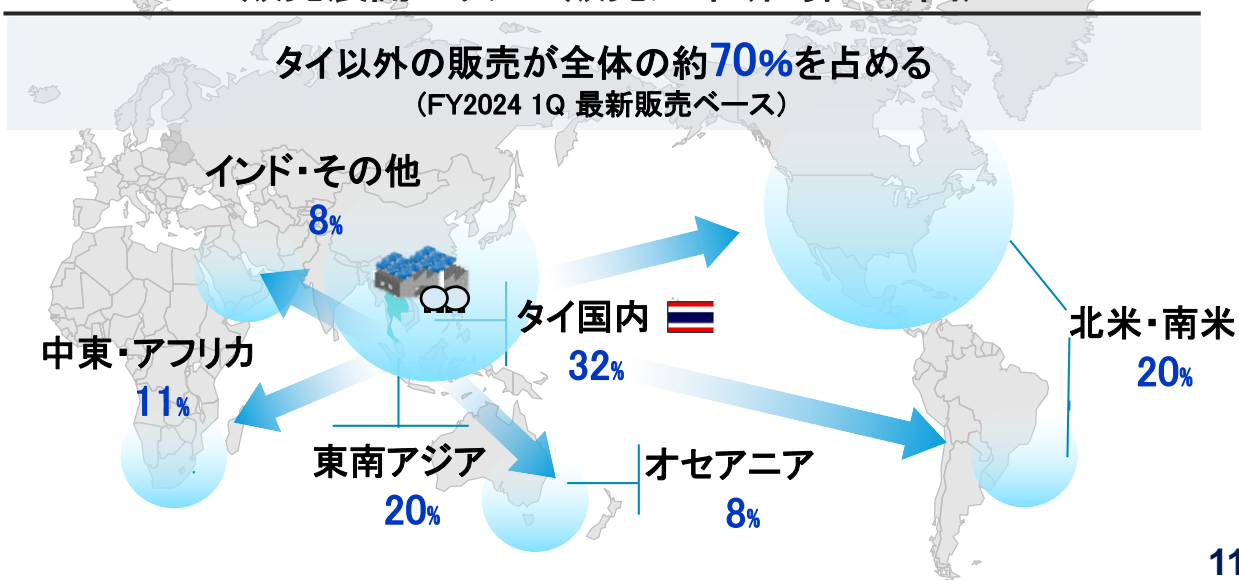
(単位:億円)

	23年度 1Q (4~6月)	24年度 1Q (4~6月)	前年同期比
販売量(千t)*	62	72	10
売上収益	340	453	113
営業利益	△ 14	52	66
事業利益	0	19	19

事業利益推移(億円)



販売展開エリアの販売比率(世界25カ国)



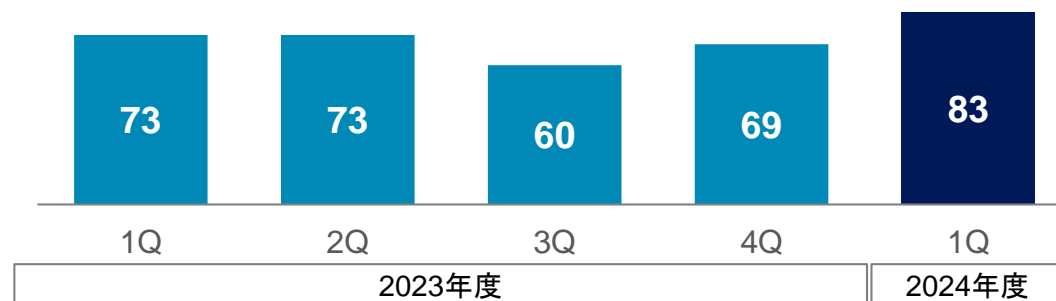
米国(TAA)の状況

缶材のサプライチェーン全体で需要が拡大、販売数量の回復が続き増収増益

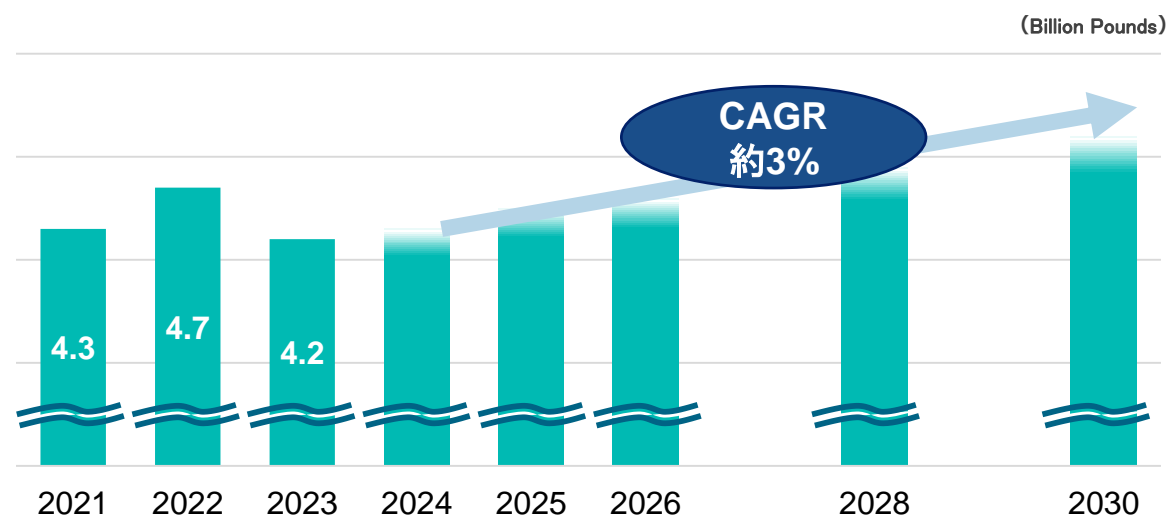
総括

- 需要** :
 - 長期的に北米の缶材需要の拡大傾向は変わらない
 - 足元では、サプライチェーン全体でのリสตッキング需要が生じている
- 生産** :
 - 高水準での生産が継続
 - 設備増強は順調に進捗
- 販売** : 前年同期比で11千トン販売量が増加

事業利益推移(億円)



米国缶材需要の推移



(単位: 億円)

	23年度 1Q (4~6月)	24年度 1Q (4~6月)	前年同期比
販売量(千t)	98	109	11
売上収益	570	713	143
営業利益	66	107	41
事業利益	73	83	10

※2023年度からの業績推移はP28をご参照ください。

米国(UWH)の状況

2023年度下期から継続しているコストダウン施策の徹底で事業利益を確保

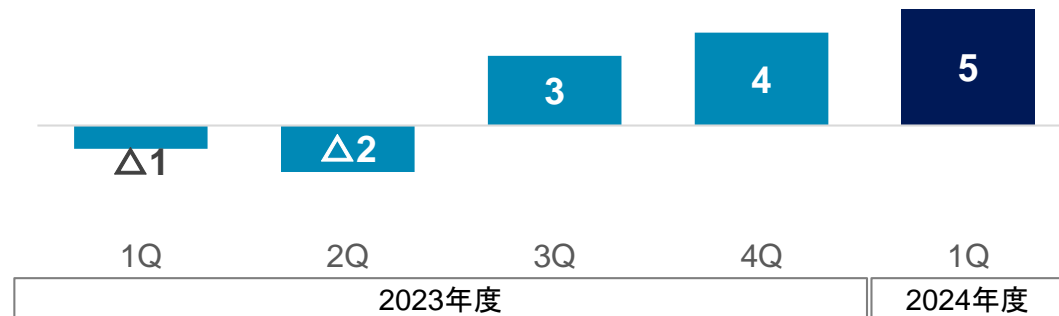
総括

- 事業環境** :
 - 環境規制等により、車体の軽量化ニーズは強まる
 - EV市場は足元で一時的に需要が弱い、自動車市場全体の中長期的な成長には変化がないものと見通す
- 販売** :
 - 日系OEMへの安定的な販売が継続
 - 「2023年度 ホンダ・ノースアメリカ・サプライヤー・アワード」で、**Quality/Delivery賞**(品質不良ゼロ・製品デリバリー遅延ゼロ)、**Value In Excellence賞**(原価低減貢献)をダブル受賞
- 損益** :
 - 顧客との交渉にて、昨年度末に続き収益を確保
 - 2023年度下期からのコストダウン施策を徹底して継続

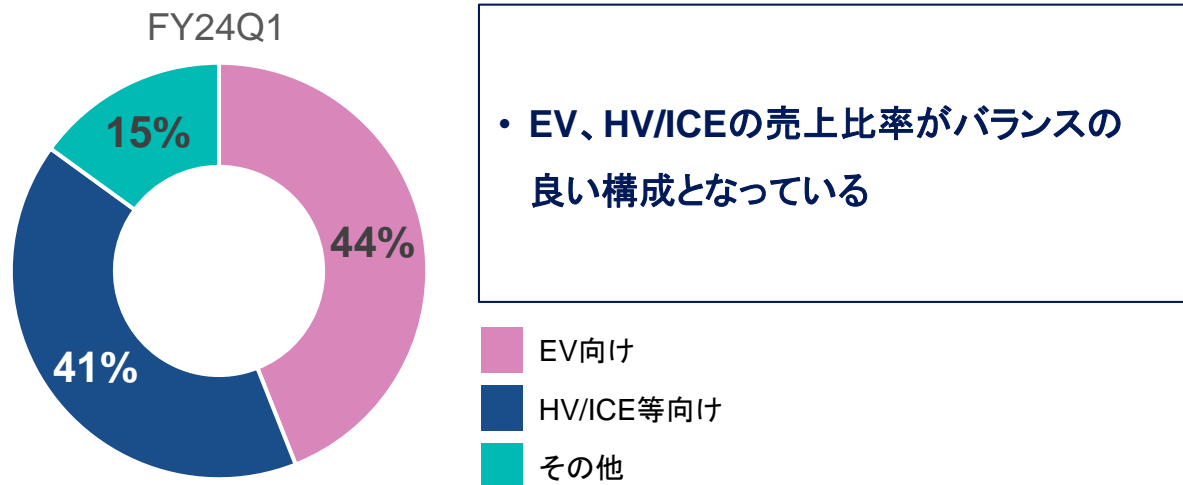
(単位:億円)

	23年度 1Q (4~6月)	24年度 1Q (4~6月)	前年同期比
売上収益	105	101	△ 4
営業利益	1	4	3
事業利益	△ 1	5	6

事業利益推移(億円)



売上構成比



※2023年度からの業績推移はP28をご参照ください。

2. 2024年度 業績予想修正



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

通期見通し サマリー

【通期事業利益見通し 概況】

事業利益 **434億円** ⇒ **455億円(+21億円)**
(2023年度実績)

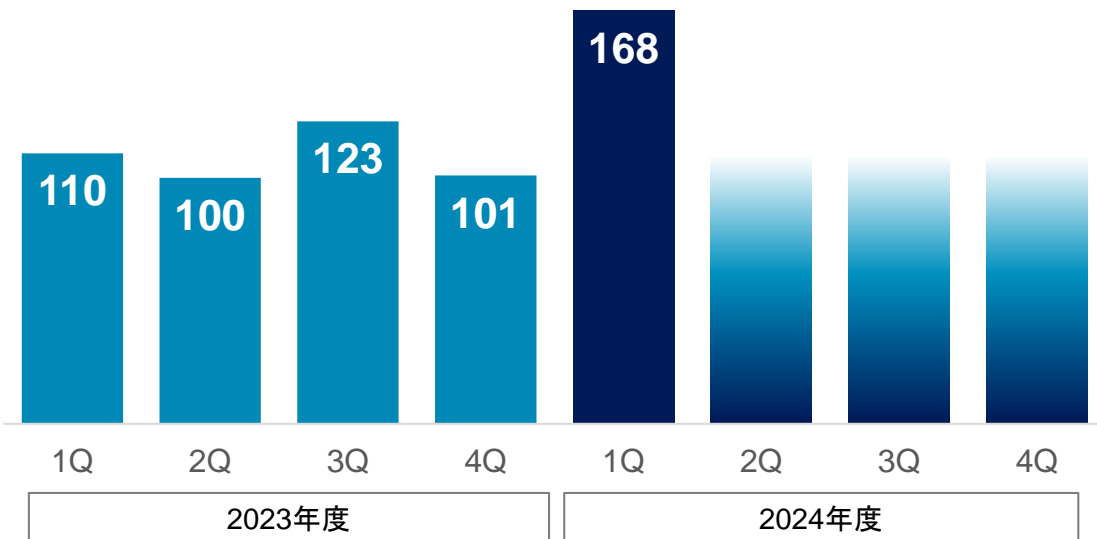
- 北米における缶材の需要拡大に応じ、UATHが増収増益
- 国内の販売価格改定効果と順調な販売が貢献

【通期最終利益見通し 概況】

最終利益 **139億円** ⇒ **205億円(+66億円)**
(2023年度実績)

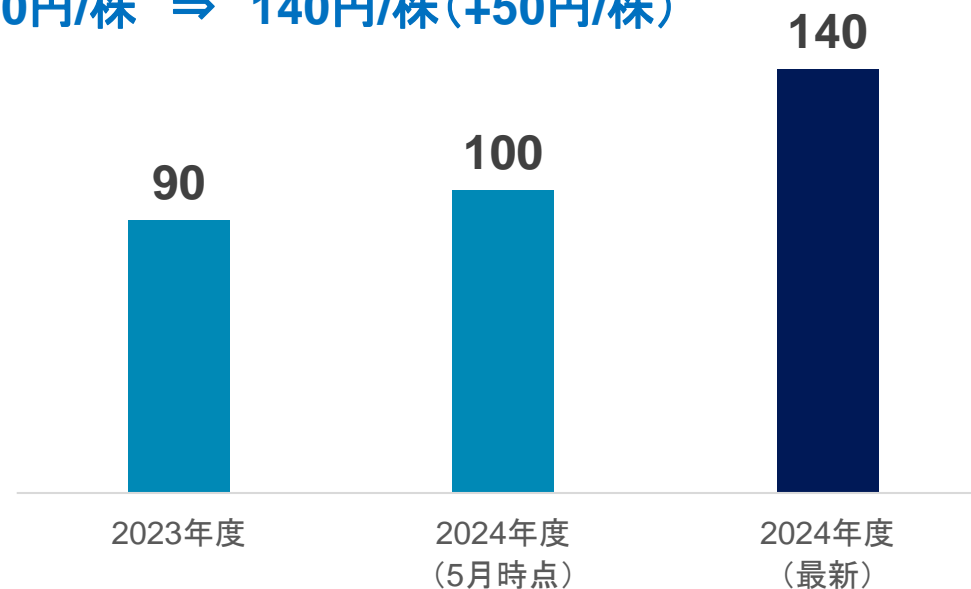
- 事業利益の増益
- 前年度からの棚卸資産影響の好転を想定

【事業利益(億円) 計画】



【配当予想】

90円/株 ⇒ 140円/株(+50円/株)



2024年度 通期業績見通し

(単位:億円)	2023年度 実績(A)	最新見通し (B)	増減 (B) - (A)	2024年5月時点 見通し(C)	増減 (B) - (C)
	売上収益	8,928	9,300	372	9,000
事業利益	434	455	21	435	20
棚卸資産影響等	△ 120	10	130	△ 20	30
営業利益	314	465	151	415	50
親会社の所有者に帰属する当期利益	139	205	66	155	50
1株あたり当期利益 (円/株)	287	425	138	321	104
(参考) 事業利益をベースとした 親会社の所有者に帰属する当期利益	221	198	△ 23	169	29
(参考) 事業利益をベースとした 1株あたり当期利益 (円/株)	458	411	△ 47	350	61
Adjusted EBITDA	798	820	22	800	20
年間配当	90円/株	140円/株	50円/株	100円/株	40円/株

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

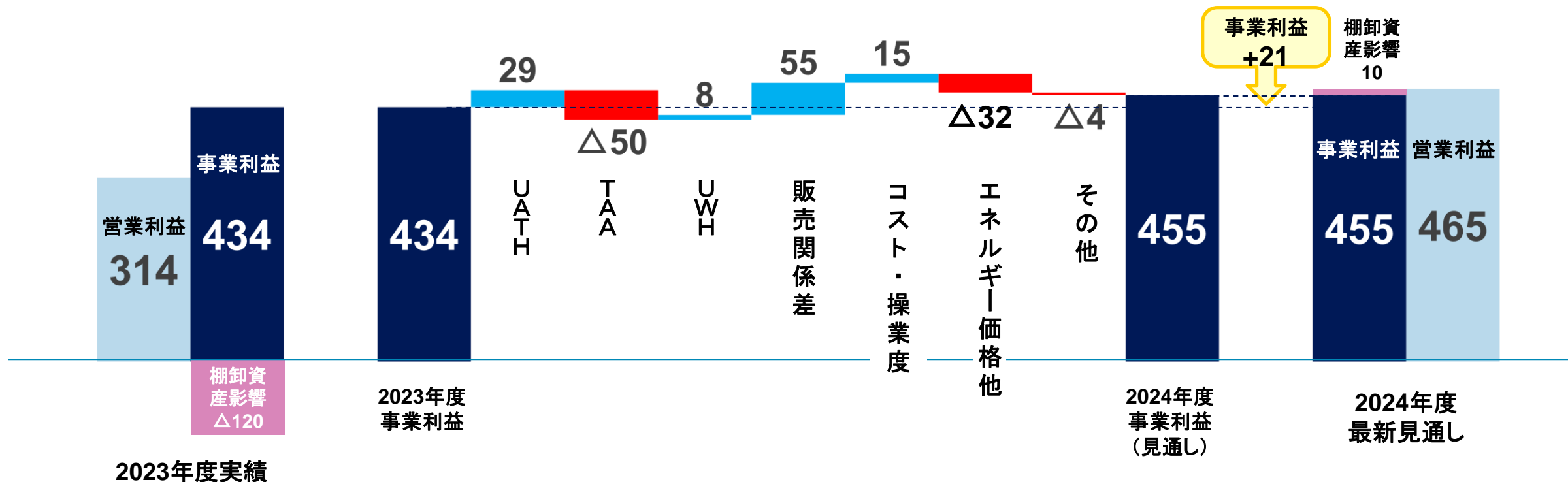
品 種	2023年度実績 (A)	最新見通し (B)	増 減 (B) - (A)	2024年5月時点 (C)	増 減 (B) - (C)
缶 材*	791	854	63	836	18
箔 地	45	45	0	54	△ 9
I T 材	8	10	2	10	0
自動車材	142	139	△ 3	144	△ 5
厚 板	34	38	4	41	△ 3
その他一般材	175	175	0	182	△ 7
合 計	1,195 国内市場向け 475 海外市場向け 720	1,262 国内市場向け 485 海外市場向け 777	67 国内市場向け 10 海外市場向け 57	1,267 国内市場向け 502 海外市場向け 765	△ 5 国内市場向け△17 海外市場向け 12

事業利益分析 (2023年度実績 → 最新見通し)

事業利益: 434億円 (2023年度) → 455億円 (2024年度見通し)

	1Q実績	2Q以降	単位
LME	2,519	2,300	\$/t
為替レート(JPY/USD)	156	145	円/\$
ドバイ原油	85	85	\$/B

(単位: 億円)



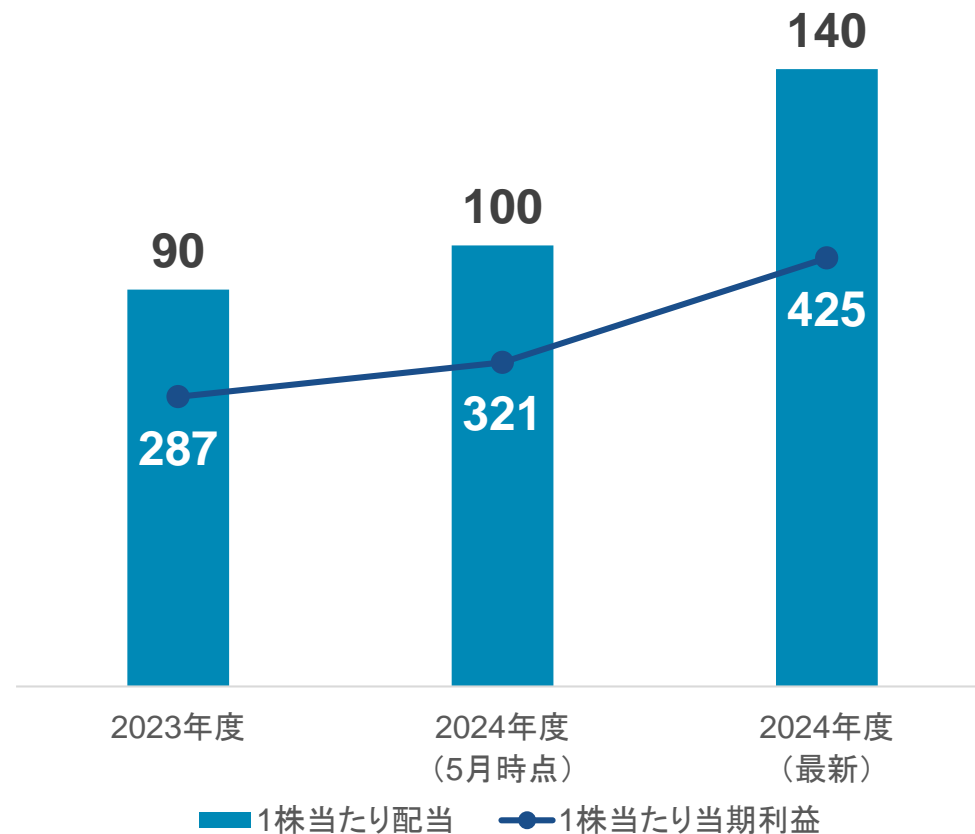
年間配当金を140円/株に増配

第4次中期経営計画期間 還元方針

安定的かつ継続的な配当を目指す
配当性向 最終利益*30%以上

	2023年度		2024年度 (5月時点)		2024年度 (最新)	
最終利益	139億円		155億円		205億円	
年間配当	90円		100円		140円	
配当性向	31.3%		31.1%		32.9%	
内訳	中間	期末	中間	期末	中間	期末
	45円	45円	50円	50円	70円	70円

1株当たり配当(円)/1株当たり当期純利益(円)



3. 企業価値向上に向けた取り組み



UACJ

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

3. 企業価値向上に向けた取り組み

企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

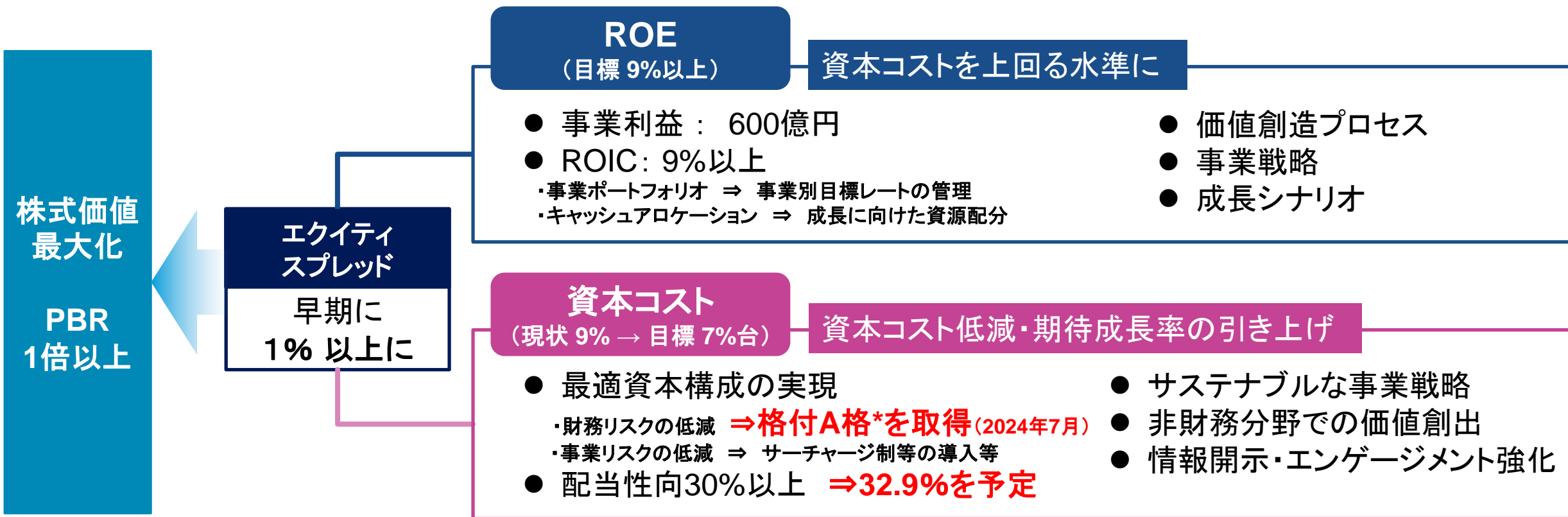
アルミとあしたへ。
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて : 取り組み施策

第4次中計で盛り込んだ施策を確実に実施し、PBR1倍以上の実現へ



- ・経営資源の適切な配分に加え、過去の投資対効果の顕在化により、ROE向上を図る
- ・財務、事業リスクの低減施策の実行、開示資料の高度化及び、市場との対話を促進し、資本コスト低減を目指す

緑豊かな青い地球を未来に継承するために : GHG排出量削減への挑戦

「EcoEnd™」の生産体制構築を完了、GHG排出量の大幅削減に技術で貢献



東洋製罐様と共同開発した缶蓋「EcoEnd™」
現行品に比べて、温室効果ガス(GHG)の排出量を約4割削減

「EcoEnd™」2つの特長

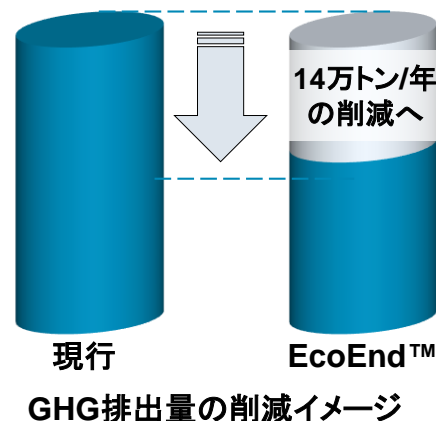
(1) アルミニウムの新たな循環フローを提案

缶蓋と缶胴は、期待される強度を達成するために、それぞれ成分調整が必要です。「EcoEnd™(缶蓋)」は、溶解後の成分調整と製造技術を工夫し、缶蓋を缶胴の成分に近づけることで、リサイクル原料を多く活用しても従来どおり缶胴との特性の差を持たせることが可能になりました。

今後は、缶蓋にも、より多くのリサイクル原料が使用でき、新地金の使用量削減にともなうGHG排出量削減に貢献できるものと期待しています。

(2) GHG排出量を大幅に削減

リサイクル原料使用量の大幅な引き上げで、現行品と比較してGHG排出量の約4割削減を実現しました。
東洋製罐様が国内で販売する飲料缶蓋がすべて「EcoEnd™」に置き換わった場合、
年間約14万t*削減される見込みです。



(ご参考)2024年7月9日リリース [次世代飲料缶用蓋「EcoEnd\(TM\)」の量産に向けて、生産体制の構築を完了 : グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ](#)

豊かで調和ある社会のために : 人権の尊重

人権デュー・ディリジェンスの実施、課題への対処を継続し、社会全体の“Well-being”を目指す

人権を尊重し、誰もが幸せを感じられる社会へ

当社における人権への取り組みの全体像

コミットメント

- 1 「UACJグループ人権基本方針(2022年3月)」を定め、
人権尊重の取り組みを推進

人権デュー・ディリジェンスの実施

- 2 複数拠点で人権デュー・ディリジェンスを実施、
人権に関する従業員向け教育を実施
(FY21・22:2拠点、FY23:3拠点で実施。直ちに対策を要する
人権への負の影響とリスクの特定はなかった)

救済への取り組み

- 3 グリーバンスメカニズムとしてグループの役員・
従業員、ステークホルダー向けの通報窓口を設置

1Qトピックス

- ✓ UACJグループ人権基本方針を改正
(人材育成に関する事項の追加)
- ✓ 階層別研修において「人権への配慮」について
教育を実施

- ✓ 人権デュー・ディリジェンスの実施予定拠点に
て、セルフアセスメントを実施

- ✓ ステークホルダー向け相談窓口の
周知活動をお取引先の皆様に向けて実施

サステナビリティ説明会

2024年11月27日(水) 午前

登壇者	代表取締役 社長執行役員	田中信二
	取締役 副社長執行役員	川島輝夫
	執行役員 サステナビリティ推進本部長	成田緑
	執行役員 ビジネスサポート本部長	浦吉幸男

※ 登壇者は調整中です。事情により変更する可能性があります

4. ご参考



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

4. ご参考

主要指標推移

		日本会計基準				I F R S		
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 1Q(単)	2024年度 (最新見通し)
連	結 売 上 高	6,152	5,698	7,829	9,629	8,928	2,476	9,300
連	結 営 業 利 益	101	111	595	172	314	219	465
事	業 利 益	-	-	-	-	434	168	455
棚	卸 資 産 影 響 前 連 結 経 常 利 益	98	62	213	161	-	-	-
連	結 経 常 利 益	38	60	523	87	-	-	-
親	会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	20	△33	321	47	139	147	205
設 投 備 資	一 般 投 資	143	109	129	210	217	35	160
	戦 略 投 資	347	72	79	54	114	24	205
	合 計	489	181	207	264	331	59	365
減	価 償 却 費	312	334	340	373	364	94	365
有	利 子 負 債 残 高	3,440	3,358	3,394	3,367	3,109	3,209	-
R	O E (%)	1.1	△1.8	15.6	1.9	5.3	-	-
R	O I C (%)	1.9	2.2	11.1	3.0	7.5	-	-
D	/ E レ シ オ (倍)	1.56	1.56	1.36	1.25	1.0	-	-
営	業 キャ ッ シ ュ フ ロ ー	581	386	78	526	949	△ 41	-
投	資 キャ ッ シ ュ フ ロ ー	△ 300	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 99	-
フ	リ ー キャ ッ シ ュ フ ロ ー	281	177	△ 132	257	587	△ 140	-
株	主 資 本 (日 本 基 準)	1,827	1,775	2,090	2,096	2,124	2,228	-

海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

UATH

	2023年度							2024年度計画	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	通期
販売量(千トン)	62	65	126	65	65	130	257	72	304
売上収益	340	352	692	366	367	734	1,426	453	1,713
営業利益	△ 14	0	△ 13	15	4	18	5	52	58
(棚卸資産影響)	△ 14	△ 1	△ 15	4	△ 11	△ 6	△ 21	33	3
事業利益	0	1	1	10	14	25	26	19	55

TAA

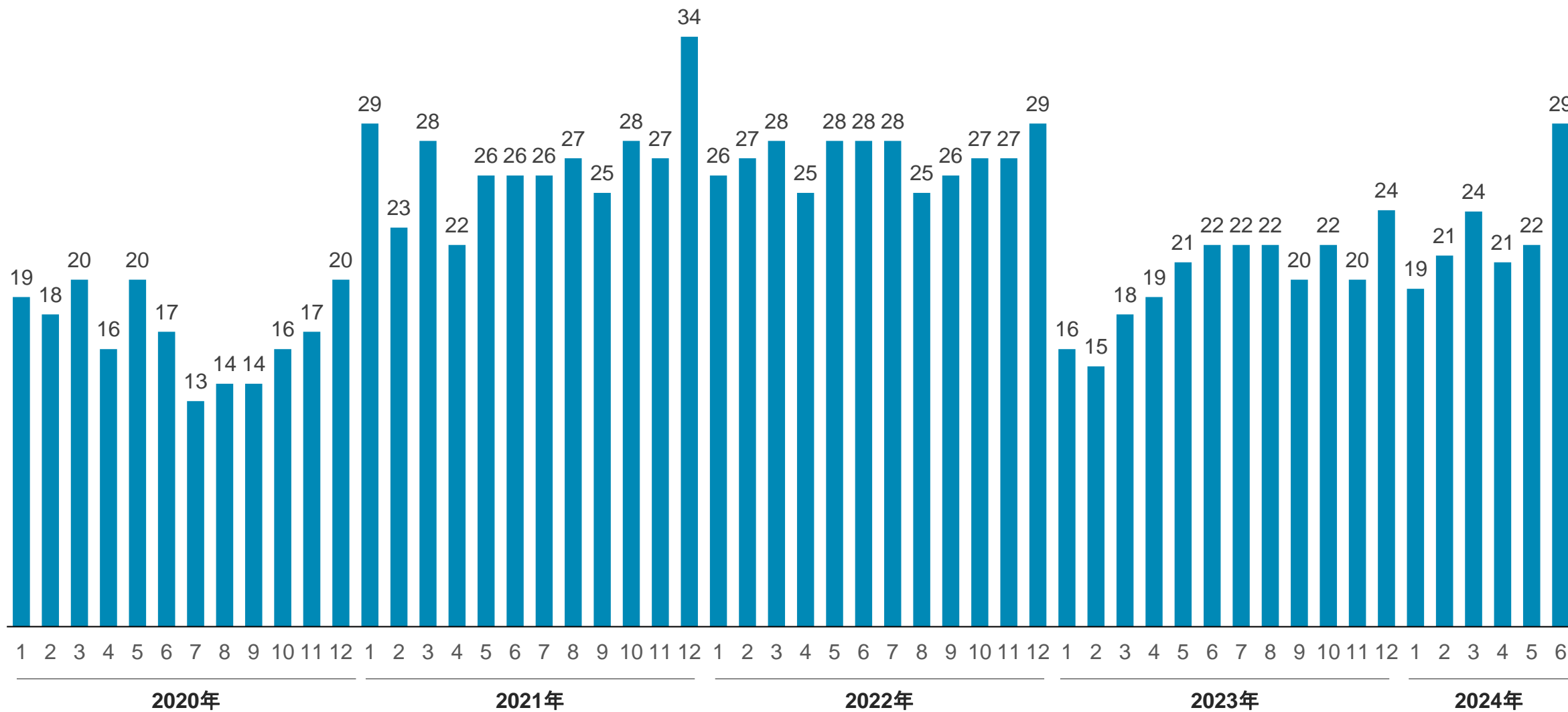
	2023年度							2024年度計画	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	通期
販売量(千トン)	98	110	208	103	122	225	433	109	436
売上収益	570	648	1,219	595	722	1,317	2,536	713	2,690
営業利益	66	34	101	36	63	99	200	107	225
(棚卸資産影響)	△ 7	△ 38	△ 45	△ 24	△ 6	△ 30	△ 75	24	0
事業利益	73	73	146	60	69	129	275	83	225

UWH

	2023年度							2024年度計画	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	通期
売上収益	105	104	210	100	107	207	417	101	398
営業利益	1	2	3	4	4	8	11	4	9
(棚卸資産影響)	2	4	6	1	0	1	7	△ 1	△ 3
事業利益	△ 1	△ 2	△ 3	3	4	7	4	5	11

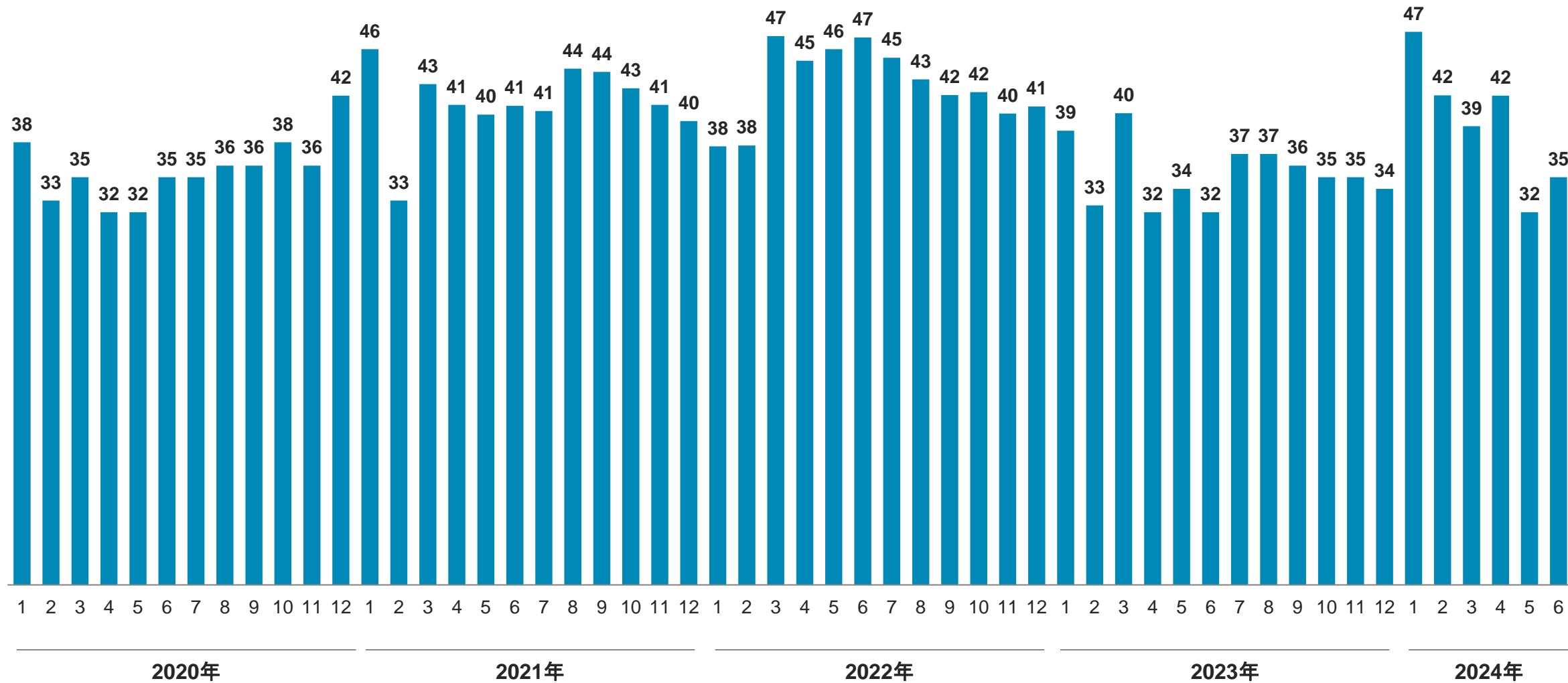
UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



TAA 月次販売量推移

(単位：千t)



諸元と感応度

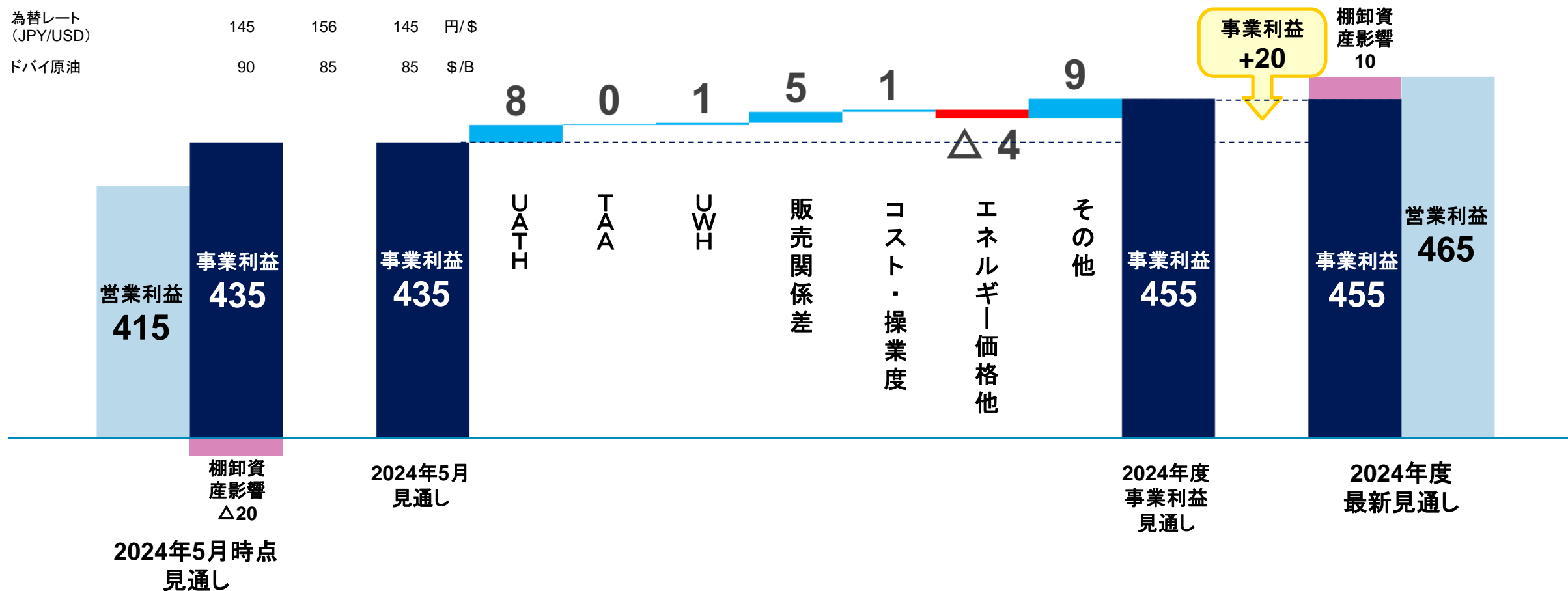
	2022年度 期中平均	2023年度 期中平均	2024年度 1Q平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,490	2,202	2,519	\$100/t上昇した場合 → +22~35億円/年
為替 (円/米\$)	136	145	156	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.8	4.1	4.3	
原油 (ドバイ：米\$)	92	82	85	10ドル上昇した場合 → △10~15億円/年

事業利益分析 (2024年5月見通し → 最新見通し)

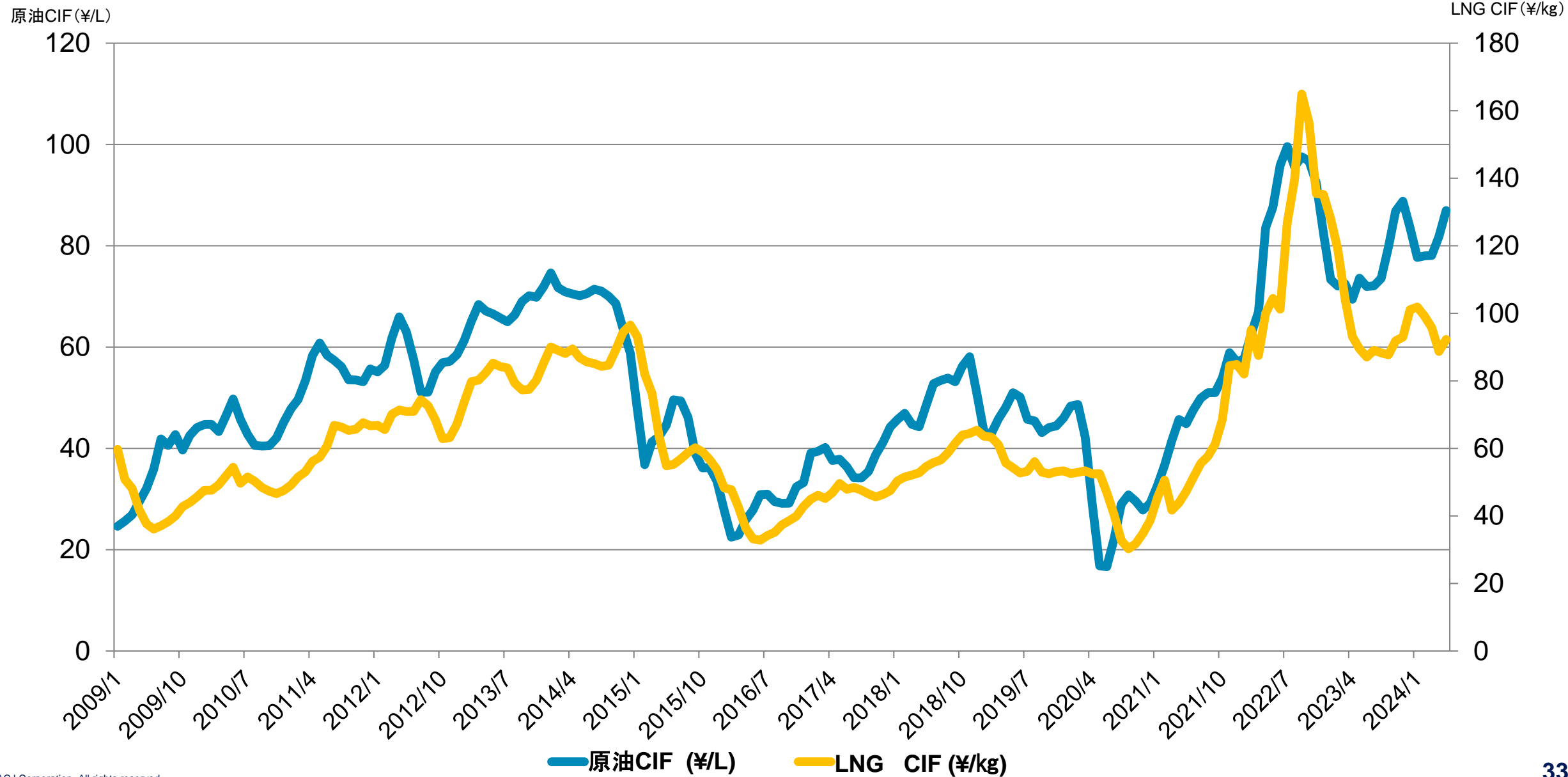
事業利益: 435億円 (2024年5月) → 455億円 (最新見通し)

	24年5月時点	1Q実績	2Q以降	単位
LME	2,300	2,519	2,300	\$/t
為替レート (JPY/USD)	145	156	145	円/\$
ドバイ原油	90	85	85	\$/B

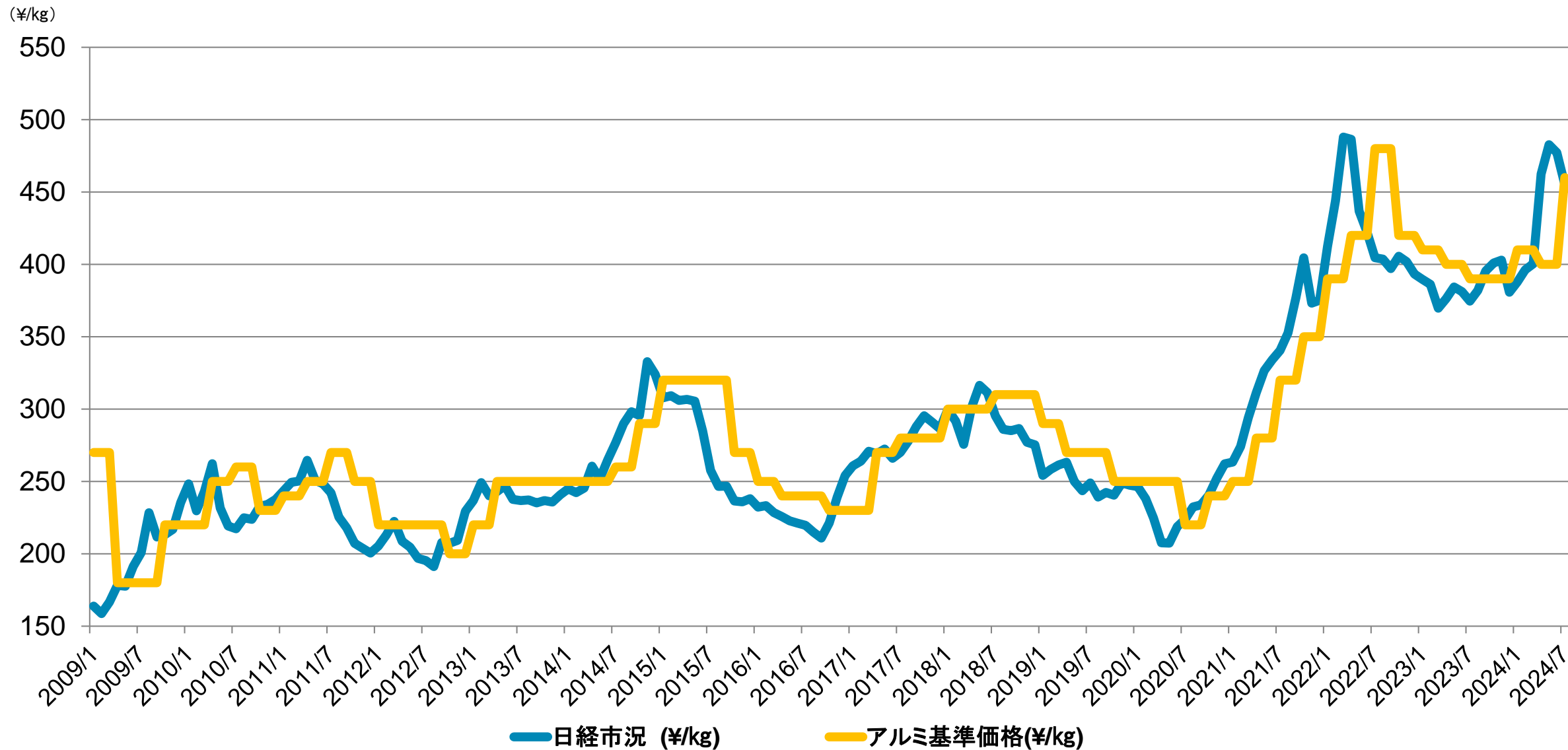
(単位: 億円)



燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHラヨン製造所で、ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル“な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

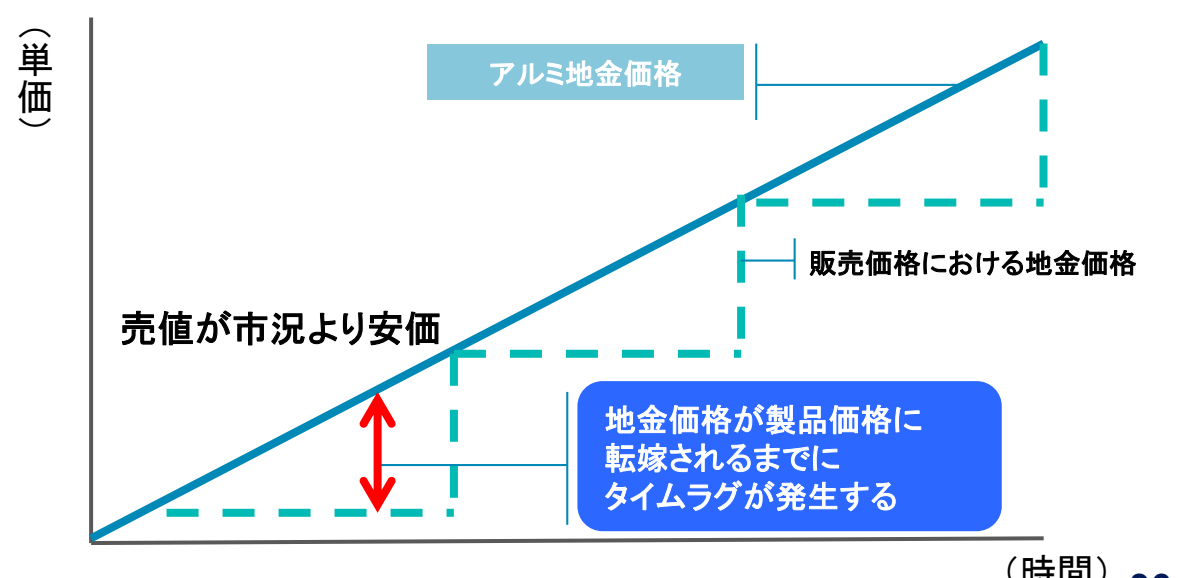
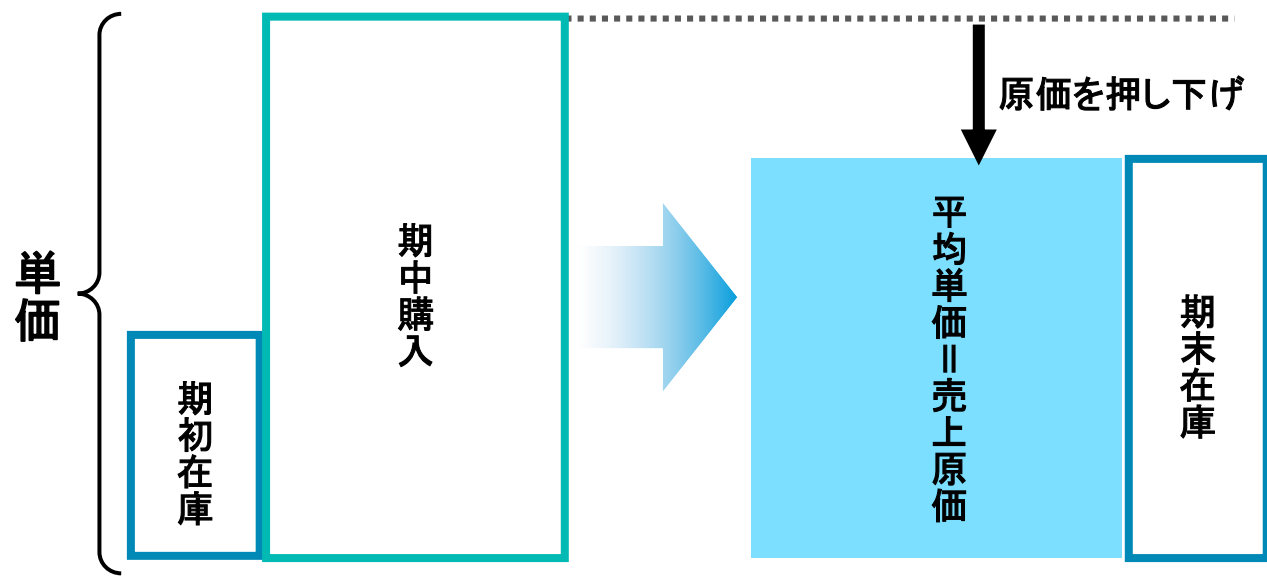
- ① 平均法による材料費計算
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)
- ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

①+ ②= 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】




① 平均法による材料費計算

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



外部環境の変化と対応について

収益の安定化に向け、外部事業環境の変化に強い価格スキームを確立

	国内 	TAA(米国) 	UATH(タイ) 
アルミニウム地金価格の上昇	販売価格に転嫁		
エネルギー価格の高騰	販売価格への転嫁は 予定通り導入済み 電力費用の追加負担分については引き続き検討	販売価格への転嫁を実施 (市場価格連動の 価格スキームを 導入済)	契約更新(新規含む) 市場価格連動の 価格スキームを 導入済 既存契約期間中の見直し 契約更改のタイミングで 導入の交渉を実施
添加金属価格の高騰	添加金属を多く含む製品について、市場価格に連動した価格スキームを 導入済		
物流費の上昇	—		販売価格への転嫁を実施 (フォーミュラ制を 導入済)

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

